# 【プロジェクトの目的と学びのポイント】

建築を専門としない家主たちが、すでにある建物を、より幸せでより豊 かな人々の暮らしの場に、仕立て上げる活動を、長年に渡り行ってきた。

本プロジェクトでは、そこに建築を学ぶ学生たちが伴走することで、そ れら活動を加速させることを目的としている。

また、この活動を通して、建築ストックを、自分たちが志向する生活に 合わせて、編集していく術を体得することも、目的としている。

### 【Y邸の概要】

Y邸は、三重県伊勢市、伊勢神宮の近傍に位置する。周辺には伊勢街道、 勢田川沿いの河崎商人町、近鉄宇治山田駅等が立地し、昔も今も、各地 から多くの旅人が行き交い、通過したエリアである。

昭和 20 年代に入り、この地に来た Y 家は、昭和から令和の時代、増改築 を重ねてきた。2020年に入り、外から人を招き入れる活動が増えている。



昔も今も、全国から多くの人が行き交い、通過したまち。 そんな一期一会な人々に門戸をひらき、温かく迎える家。

二世帯住宅へ

平成



昭和 20 年代にこの地に来た Y家。昭和から平成、令和と増改築を重ねてきた。 特に、2020年代に入り、外から人を受け入れるアクティビティーが増え始めた

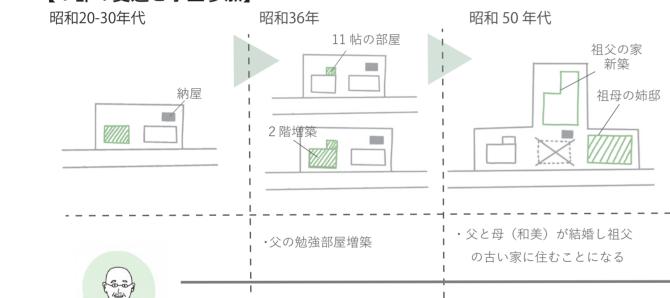
「ひらかれる家」として加速!

サウナ

納屋

2023-2025

# 【Y邸の変遷と学生参加】



・父商校入学と同時に2階増築 ・裏の梅林を購入し、祖父の家 を新築、古い家を解体





・父と母がおじいちゃんの家を

二世帯住宅に新築

令和

家にいてできることを始める

・おばあちゃんの姉亡くなる

駐車場にする

・おばあちゃんの姉の家を解体し、

2020年・祖父亡くなる

・アクアリウム、絵画、DIY

駐車場

・父は外へ出られないため人が家に来てくれることになる ビリヤード、麻雀台、ルーレット サウナ、バーベキュー、プロジェクター(息子の発案)





・祖父母の間に昭和(父)生まれる

·伊勢市神田久志町(借家)

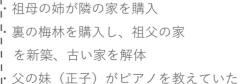
・その後借家住まい2ヶ所。

リヤカーで引越し



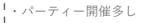
・父の妹誕生

- ・祖母の実家の庭に平屋を建築 (6帖+台所)
- ・祖父が受け持った子供たち がたくさん遊びに来るようになった
- ・年間延べ600人以上 (祖母が毎日手帳につけていた)



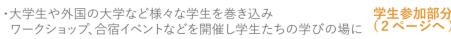






- ・姉(志麻)の外国人の友達がたくさんきていた
- 2階に茶室を作る。
- 母がお茶の先生をしていて生徒たちの合宿を行なっていた
- · 昭和 50 年代 剛毅(息子)誕生





・テキサス州で活躍するアーティストを招いたライブペインティング、 アコースティックライブイベント.親子ラーニングフェスなど様々な人たちの 交流の場に(別紙参照)



温室プロジェクトスタート ・昔からある納屋をベースに 父の小さい頃からの夢である温室作り



# 日常の暮らしの中に 非日常の活動を挿入

日常の暮らしま日常の活動

#### 2024 年 8 月 ●親子ラーニングフェス

○親子ラーニングフェスの開催 コラージュ体験ワークショップ

生成 AI 音楽づくりワークショップ

ウィスキングサウナ体験





## 2025 年 7 月 ●地域共創隊の夏合宿

○大学の学生団体地域共創隊 WITH の夏合宿の開催





# 2025 年 8 月 ●伊勢ハッカソン

〇中・高・大学生向けプレゼンイベント「とこわか MIE アワード| アフ ター パーティーの開催

○「伊勢ハッカソン イセベガスをハックせよ!」





#### 2025 年 3 月 ●国際まちづくりW.S.

OTISE FENIX PROJECT International Urban Planning Workshop 外国の大学の教員と研究室の連携

国際まちづくりワークショップの開催





リビング

日常の炊事場

母の部屋(自宅介護)



夏は孫がプールで

水遊び

# 2025 年 7 月 ● グリーンハウス PJ

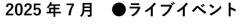
○研究室コミュニティグリーンハウスプロジェクトの 中間発表











○テキサスオースティンで有名な日本人 アーティストによるライブペインティ ングイベント「SYMPATHY FOR THE YELLOW! の開催 ライブペインティング アコースティックライブイベント

シルクスクリーンTシャツ体験







# 2024年7月 ●アコースティックライブ

植物育てる ミニの駐車

物置

コミュニティ

(3ページへ)

物置

グリーンハウス整備

駐車場

前庭

来客が停める

植物 育てる

E & 8

馬馬馬 ガレージ

(ピロティ)

〇テキサスオースティンで有名な日本人アーティストによるライブペインティング・アコー スティックライブイベント「YELLOW ROCK MY HOUSE」の開催





# 【現況調査】

計画に先立ち、現地での実測調査、既存小屋の状況を確認。既存小屋は構造的に問題なく、梁下で屋根部分を取り除き、新たな温室の架構をのせても問題ないことを確認。雨水は既存の側溝に流すこととした。

一方、サボテンをはじめ植物は大切に育てられて おり、これらを新たな温室に移動する予定である。

#### ●温室に移動予定の植物一部

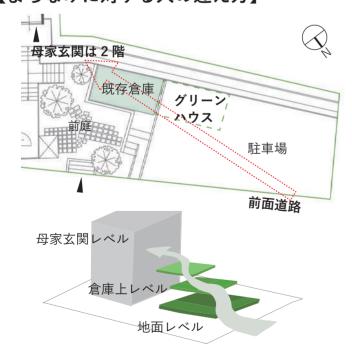


#### ●実測の様子





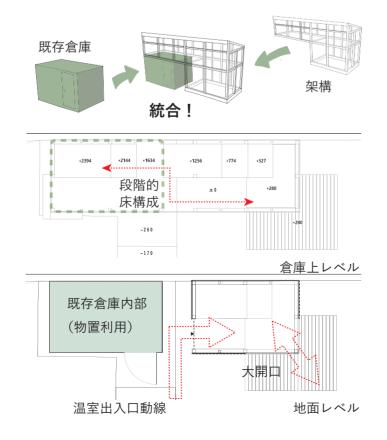
# 【まちなみに対する人の迎え方】



「前面道路→温室・地面レベル→温室・倉庫上レベル→母家」 と段階的に高さを変化させた床を構成することで、まちか ら人を自然に迎え入れる 施主がかねてより希望していた、グリーンハウス(温室)づくりを通して、「ひらかれる家」での活動がさらに加速することを考えている。その方針は、①まちに対する開き方、②既存物を手掛かりとした計画、③みんなが参加できる作り方、である。現在、この3点を整備方針として、施工に向けて活動中。2025年12月竣工を目指している。



# 【既存倉庫を手掛かりに拡張させた架構】



# 【大工さん指導のもと小屋組づくり】





## 【コミュニティを醸成する仕掛け】



#### ●カウンターとして

高さのある板は食事などを 楽しむ際のカウンターとし ても利用

#### ●椅子として

色々な高さに座ることに よって様々な目線が生ま れる。板の下は収納にも



#### ●展示台として

様々な高さにサボテンを置くことができ、温室いっぱいに緑が広がる空間に

#### ●移動販売車利用者に向けたテラス



毎週来る移動スーパー利用客に活用されるテラス

# 【みんなの手が入る壁のつくり方】

先に整備した小屋組に対し、柱間にフレームと透明ポリカで制作したパネルをパッチワーク状にはめ込むことで壁面をつくる。

パネル自体は DIY ワークショップにより、学生、家主、Y 邸で活動する人たちの手で制作する予定。竣工は 2025 年 12 月を予定。

参加者の痕跡が残る パッチワーク状の壁

